

トンネル7本を計画

釧路開建 横断道本別一阿寒間の主要構造物

【釧路】新直轄方式で整備される道横断自動車道本別一阿寒間で、釧路開建が施工を担当する区間の主要構造物で、トンネル7本が計画されている。その中で庶路トンネルは二千級、阿寒トンネルは千級級の規模だ。

新直轄方式による本別一約八百四十級、縫別トンネル開路間六十五級のうち、阿寒一釧路間は環境影響調査などが進められているため、本別一阿寒間四十八級が先行整備される。十六級が帯広開建、三十二級が釧路開建の所管区域。

道路公団との施工分担協定で釧路開建は、392号との交差を含む白糠IC（インターチェンジ）前後区間九級と、道路公団に委託する区間六級を挟んで、続く阿寒ICまでの区間六級の二区間合わせて延べ十五級を担当する。

その十五級区間でトンネル七本を計画している。白糠IC前後区間ではカラマントンネル（音別町内）約百五十級、カラマン別トンネル（同）約五百二十級、大曲トンネル（白糠町内）

「庶路」2千m級、「阿寒」1千m級

設計を発注。白音トンネルも今月中に発注し、詳細設計まで含め概要を固める。これら構造物設計などのほ

最新の地理情報システムを

釧路でGIS普及セミナー

【釧路】国土地理院北海道地方測量部が主催する「GIS普及セミナー」が十月二十九日、釧路市観光国際交流センターで開かれ約八十人が最新の地理情報システムや地元地域の活用事例などを学んだ。

北海道GIS・GPS普及推進研究会（山村悦夫運営委員長）と地理情報システム学会（同会長）の共催。はじめに国土地理院北海道地方測量部の常務治義次長がGIS（地理情報システム）にか



地域産業に沿った活用事例を紹介した機田伊ソジック社長

【網走】網走開建は十月二十九日、旭川・紋別自動車道丸瀬布一豊里間道づくり検討委員会（委員長・高橋清北見工大助教授）のメンバーを招き、「海外における道路整備の話題について」をテーマとした講演会と、高規格道路建設予定地、丸瀬布ICから遠軽町豊里間（十八級）で現地見学会を行った。

遠軽町福祉センターで開かれた講演会は、高橋委員

長が講師を務め自身の経験に基づき海外の道づくりを紹介。参加した地域住民ら五十人が海外の道路について学んだ。

高橋委員長はイギリスの道路について「建設する前から、住民が参加するという土壌をつくり上げている」と住民参加型の道づくりが進んでいること強調。アメリカは「美しい景観を見ようと思ったら危険な所を通ることもある。もち

から経営を指導する活用法を説き、新農地台帳のつくり必要項目を記入して個人農地の該当地図を検索できるシステムを実演した。

【釧路】釧路湿原自然再生協議会（辻井達一会長）は全体構想に地域の意見を反映させる地域検討会の第二回会合を十月二十六日に標茶町、同二十七日に鶴居村、同二十八日に釧路市で開催、参加者は各地域事情を通じた意見を活発に交換した。

「標茶町・弟子屈町会場」は標茶町開発センターで、

「衛星写真地図を張り付けることで周囲の変調が分かり、面積だけでなく座標値も算出できる」と幅広い活用法を紹介した。

農業経営者らが参加。ここでは「協議は大規模な展開をしているがそれでも地域住民には認知度が低い。このままでは実際に事業展開する際、前回同様に勝手に何かを進められているという印象はぬぐえない」とPRを求める声や「釧路市昭和地区の宅地開発などは都市計画区域内であるとしても上流域側の人間としては

【網走】網走開建は十月二十九日、旭川・紋別自動車道丸瀬布一豊里間道づくり検討委員会（委員長・高橋清北見工大助教授）のメンバーを招き、「海外における道路整備の話題について」をテーマとした講演会と、高規格道路建設予定地、丸瀬布ICから遠軽町豊里間（十八級）で現地見学会を行った。

遠軽町福祉センターで開かれた講演会は、高橋委員

【釧路】釧路湿原自然再生協議会（辻井達一会長）は全体構想に地域の意見を反映させる地域検討会の第二回会合を十月二十六日に標茶町、同二十七日に鶴居村、同二十八日に釧路市で開催、参加者は各地域事情を通じた意見を活発に交換した。

「標茶町・弟子屈町会場」は標茶町開発センターで、

「衛星写真地図を張り付けることで周囲の変調が分かり、面積だけでなく座標値も算出できる」と幅広い活用法を紹介した。

農業経営者らが参加。ここでは「協議は大規模な展開をしているがそれでも地域住民には認知度が低い。このままでは実際に事業展開する際、前回同様に勝手に何かを進められているという印象はぬぐえない」とPRを求める声や「釧路市昭和地区の宅地開発などは都市計画区域内であるとしても上流域側の人間としては

中央に緑を植えたりしている」と、スペースを有効利用していることを述べた。

日本の道路整備の課題としては「恒常的なPI（パブリック・インボリューション）の導入、標識などの「過防備的な規制の緩和」「道路パフォーマンスの向上」を挙げた。

この後の現地見学会には、委員会メンバー二十人が参加。前回の検討委員



高規格道路建設予定地を視察する委員会メンバーら

帯広・釧路・北見・網走版

- 帯広支社
☎0155(22)0401
FAX(28)2519
- 釧路支社
☎0154(41)3832
FAX(44)2065
- 北見支社
☎0157(23)4666
FAX(66)2175
- 網走支局
☎0152(44)2675
FAX(61)2175

活発に意見交換

釧路湿原自然再生協議会

農業経営者らが参加。ここでは「協議は大規模な展開

【釧路】釧路湿原自然再生協議会（辻井達一会長）は全体構想に地域の意見を反映させる地域検討会の第二回会合を十月二十六日に標茶町、同二十七日に鶴居村、同二十八日に釧路市で開催、参加者は各地域事情を通じた意見を活発に交換した。

「標茶町・弟子屈町会場」は標茶町開発センターで、